

わが家の防災マニュアル

(令和5年9月改訂)

わが家の防災会議⇒日ごろの**備え**が、いざというときに**役立ちます**。

家族会議を開こう

ときどき家族みんながそろって、災害への備えや心構えを話し合うことは、たいせつな防災対策です。勤めなどで家族が離れている時の連絡手段や避難方法などがテーマです。

■話し合っておきたいこと

◎役割分担をしっかり確認

- ・非常用品の点検と購入、要援護者の安全確保の担当など

◎緊急連絡方法を確認する

- ・離ればなれになった時の連絡方法、災害用伝言ダイヤルの使い方

◎非常持ち出し品、非常備蓄品などの確認

- ・非常持ち出し品は所定の場所にあるか、消火器などの点検も

◎避難場所・経路・避難方法の確認

- ・いざ避難という時の場所は？安全な経路は？

◎家の周辺の危険箇所の確認

- ・過去の災害箇所や崩壊危険場所などの確認



避難情報を入手して早めに行動

避難のための情報は、町の「防災行政無線」のほかスマホなどでも取得できます。自主的にこれらの情報をキャッチして、より安全な避難のために役立ててください。

笠松町公式LINE

〈登録方法〉

LINEメニューの友だち追加から
ID「Kasamatsu-town」を検索



緊急速報メール（エリアメール）

「笠松町エリアメール」と検索し、
町ホームページをご確認ください。

※登録不要



あんしんかさまつメール

〈登録方法〉

「bousai.kasamatsutown@raidens3.
ktaiwork.jp」へメール送信

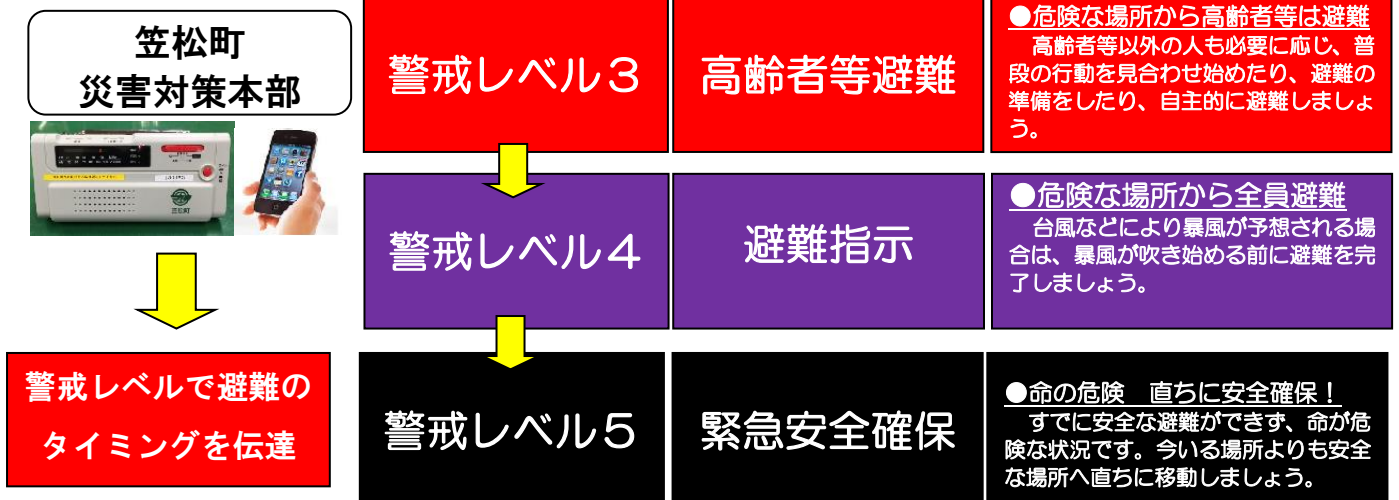


防災行政無線アンサーバック

防災行政無線で放送した内容を電話で確認することが
できます。（過去24時間分）

TEL 058-388-4930 ※通話料は自己負担

■警戒レベル4までに必ず避難しましょう！

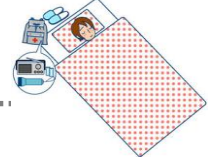


地震発生時の行動⇒的確な行動が家族の命を守ります。

①地震発生時の心得

テーブルなどの下に！

自宅で、強い揺れを感じたら、出口を確保しながらテーブルなどの下にもぐり、脚をしっかりと握り、揺れが収まるのを待ちましょう。また、寝ているときは、寝具にもぐりこむか、ベッドの下に入れる場合はベッドの下に入り、身の安全を確保しましょう。



建築物から離れる！（頑丈な建物なら中に入る！）

屋外で、強い揺れを感じたら、住宅、中高層ビルなどの建物から離れましょう！（ブロック塀の倒壊、落下物などの危険があります。）



急ブレーキは禁物

運転中は、震度5くらいからしか揺れを感じる事が出来ません。ゆっくりと道路の左側や空き地に停車しましょう。避難する場合は、車のキーはつけたままにし、ロックしないで窓を閉めます。貴重品は必ず持ち出しましょう。



先生の指示に従いましょう！

学校では、机の下にもぐって落下物などから身を守り、慌てて外に飛び出すなど勝手な行動はせずに、先生の指示に従いましょう。



②揺れが収まったら

先生の指示に従いましょう！

周囲を確認し、身の安全を確保しましょう。ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落とし、可能なら施錠をしましょう。（火事場泥棒に注意！）



ためらうことなく避難をしましょう

テレビ、ラジオ、役場などからの情報に注意し、正しい情報に基づいた判断をしましょう。役場からの避難指示などがなくても、身の周辺に危険が迫っていると判断した場合は、ためらうことなく避難しましょう。



要支援者に声かけを！（向こう3軒両隣の気持ちで）

隣近所の高齢者だけの世帯や障がいのある人など支援が必要な人に声をかけて、避難を促しましょう。



水害・台風接近時の行動⇒**早めの避難がカギ**です。

①水害（河川氾濫）の予兆



長く続く大雨に注意！

河川洪水・氾濫の予兆はやはり大雨や長雨です。

住んでいる地域で雨が長く続くときや、強い雨の時間が長いときは特に注意が必要です。

住んでいる地域で雨が降っていないなくても、近隣の川の上流で大雨になっていると、やがてその水が流れてきて洪水や氾濫の危険性が高くなります。

②水害から身を守るためのポイント



川や用水路の様子を見に行かない！

大雨のときに川や用水路の様子を見に行き行って被災することがあります。河川の様子はインターネットやテレビのライブカメラで河川の水位をリアルタイムで公開しています。

様子を見に行かずにこれらの情報から把握するようにしましょう。

不安に感じたときは避難をするタイミングです。



夜になる前の早めの避難！

台風の接近や、大雨が夜に予想されているときは特に注意が必要です。暗くなって大雨の中の避難は危険です。暗くて見えないだけでなく、大雨の中では音も聞こえにくく危険な場所に気づくのが遅れ、被災することがあります。

外が危険なら高い建物に避難！

避難所に行くことだけが「避難」ではありません。安全な場所へ逃げることが大切です。

自宅の周辺がすでに浸水しているなど、外に避難するのが危険なときは、自宅などの建物内で可能な限り高いところに避難する「垂直避難」も避難方法の一つです。

③強風・暴風前の自宅の備え



強風前に自宅の中へ！

庭の植木鉢や物干し竿は強風によって飛ばされ、歩行者にけがをさせてしまうおそれがあります。風に飛ばされそうな物は自宅の中に入れるか、柱などにロープやチェーンで固定しましょう。万が一ガラスが割れた場合に備え、飛散防止フィルムを貼り、カーテンを閉めておきましょう。

家具転倒防止補助器具について

過去の災害から学ぶ

濃尾大震災（1891年）	阪神淡路大震災（1995年）	東日本大震災（2011年）
死者：7,273人 死因 1位 圧死	死者：6,434人 死因 1位 圧死	死者：15,892人 死因 1位 水死
内陸型直下地震（活断層） 特徴：短く激しい揺れ	内陸型直下地震（活断層） 特徴：短く激しい揺れ	海溝型地震（プレート） 特徴：大きく長い揺れ

岐阜県で発生した濃尾大震災と阪神・淡路大震災の**死因1位と地震の種類**（内陸直下型）は同じ。→笠松町で大きな被害を抑えるため、**圧死を防ぐことがとても重要です。**

圧死を防ぐには



圧死の原因は大きく2つあります。

1. 家屋の倒壊…昭和56年以前に建てられた耐震基準を満たさない建物が危険です。
2. 家具などの転倒…重い家具に圧迫されたり、食器棚の食器が散乱し危険です。

すぐに出来る防災対策として、**家具転倒防止補助器具の設置**は有効です。

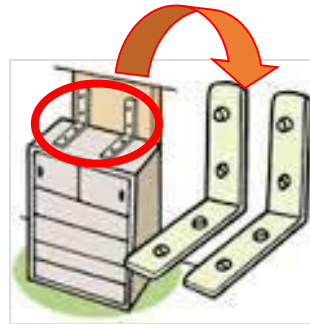
家具転倒防止器具とは

家具が地震で転倒をしないように、住宅の壁や柱に固定する器具のことです。

＜L字式金具＞



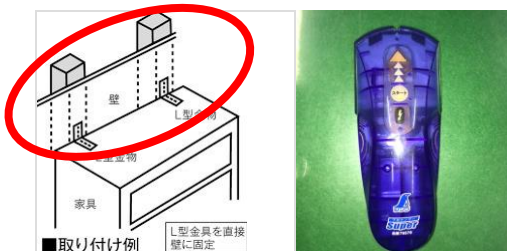
＜チェーン式金具＞



*他にも様々な種類があります。

各町内会へ器具の取り付けに役に立つ**下地センサー**を配布しています。器具の取り付けをされる方は是非ご利用ください。（各町内会まで）

＜下地センサーとは？＞



＜下地センサー＞

家具転倒防止補助器具は柱や梁に取り付けることで十分な効果が期待できます。取付けの際、壁に隠れて見えない柱や梁を探すための器具です。

防災クイズ！

地震編

大地震が発生したとき、どのような行動をとりますか？

1. 自宅が停電し、建物倒壊の恐れがあるため、避難所へ行くことにしました。自宅の電気、どうしますか？

- a. 停電のままにしておく b. すべての電源を切る c. ブレーカーを落とす

答え： c. 停電が解消された際、地震で断線したコード等がショートし、火災が発生する場合があります。（通電火災といいます。）

2. 避難する道中、近所の人倒壊した建物の下で助けを求めています。こんなとき、どうしますか？

- a. 付近の人と協力し救出活動をする b. 119番通報する c. 一人で救出する

答え： a. 大地震が発生した場合、すぐに救助に駆けつけられるわけではありません。時には皆さんが協力して救助をすることも必要です。日ごろから自主防災訓練など町内会行事に参加し、協力体制づくりに努めましょう。

水害編

大雨や洪水が発生するおそれがあるとき、どのような行動をとりますか？

1. 避難する際の靴として適当なものは？

- a. 長靴 b. 運動靴 c. サンドル

答え： b. 外は足元が水で見えないこともあり、非常に危険です。濡れるのは覚悟の上で歩きやすい運動靴を履き、ひもを強く結んで脱げないようにしてください。長靴は長靴以上に水かさがあれば水が入り歩きにくくなります。

かさまつ防災士会推奨！ 非常持ち出し袋について

笠松町では平成27年に災害に強いまちづくりに寄与することを目的に町内にお住まいの防災士の資格を取得された方でかさまつ防災士会を立ち上げ活動しています。今年度は活動の一環として、**非常持ち出し袋**について検討しました。

＜検討条件＞

- 重さ5kg程度
 - 全天候対応（冬に必要なものも考慮）
 - 24時間生き延びることが出来る装備
 - 5,000円程度で揃えることができる
- 家族で一つではなく、一人一つ準備し、災害に備えましょう
→防災訓練のときに持参し、すぐに持ち出す心の準備をしましょう



＜非常持ち出し袋一覧＞準備できたらチェックしましょう！

#	✓	物品名	個数	
1	<input type="checkbox"/>	リュックサック	1個	使い古しでもOKです
2	<input type="checkbox"/>	名札	1個	誰のものかわかるようにしましょう
3	<input type="checkbox"/>	LEDライト	1個	電池要らずの手動式もあります
4	<input type="checkbox"/>	ゴミ袋	数枚	カッパやオムツの代用として便利です
5	<input type="checkbox"/>	レジャーシート	1枚	座るところがないときに便利です
6	<input type="checkbox"/>	レインコート	1枚	両手が使える雨具で避難しましょう
7	<input type="checkbox"/>	歯磨きセット	1セット	歯磨き用シートがおすすめです。
8	<input type="checkbox"/>	絆創膏、包帯	1セット	避難する時に怪我はつきものです
9	<input type="checkbox"/>	ウェットティッシュ	1セット	お尻拭きでも代用可能（除菌タイプも）です
10	<input type="checkbox"/>	ポケットティッシュ	1セット	さまざまな用途に使えます
11	<input type="checkbox"/>	マスク	1枚	砂埃などからガードします
12	<input type="checkbox"/>	ハンドクリーム	1個	女性の避難生活のための必需品です
13	<input type="checkbox"/>	タオル	2枚	汗拭きだけでなく、衛生面からも必要です
14	<input type="checkbox"/>	ロープ	5m	避難時の救出活動などに利用可能です
15	<input type="checkbox"/>	軍手	1双	怪我の防止に準備しましょう
16	<input type="checkbox"/>	簡易トイレ	1日分	1日10回分、家族分の準備が必要です
17	<input type="checkbox"/>	ホイッスル	1個	助けを呼ぶときに便利です
18	<input type="checkbox"/>	レスキューシート	1個	寒さをしのぐアルミの薄いシートです
19	<input type="checkbox"/>	給水バック	1個	避難の長期化に備えて1つは準備しましょう
20	<input type="checkbox"/>	使い捨てカイロ	1個	寒さをしのぐ重要アイテムです
21	<input type="checkbox"/>	水（500ml）	3本	個人でも準備しましょう
22	<input type="checkbox"/>	シーチキン缶	1個	中の油がろうそくとしても使えます
23	<input type="checkbox"/>	長期保存用ようかん	1個	甘いものがあると、気分転換になります

＜個人の状況に応じて準備するべきもの＞

皆さんが生活する上で必要なものは準備しておきましょう。

例）常備薬、メガネ、靴、現金、携帯、スマホ（充電器も）、保険証の写し、新聞紙、筆記用具、ヘルメット、食料...等

わが家の防災メモ

⇒いざというときのために大切なことを書きとめておきましょう。

避難場所	
家族が離ればなれになった時の集合場所	
災害用伝言ダイヤル	171（体験利用日：毎月1日、15日ほか）

緊急時の連絡先（家族・親戚・病院など）

連絡先	電話番号	連絡先	電話番号

防災関連機関連絡先

火事・救急119番

警察110番

- 笠松町役場 058-388-1111
- 羽島郡広域連合（消防署） 058-388-1195
- 岐阜羽島警察署 058-387-0110
- NTT岐阜支店 058-269-9556
- 中部電力PG(株)各務原営業所 0120-924-503
- 東邦ガス(株)岐阜営業所 058-272-2166

防災士の資格取得について

防災士とは、防災に対する一定の意識・知識・技能を持っていることを日本防災士機構（民間団体）が認証する資格で、町では資格取得の助成を行っております。また、町内に在住で、防災士の資格をお持ちの方で構成される「かさまつ防災士会」を立ち上げ、各種イベントへの参加などの活動を行っております。地域の防災力向上にご協力いただける方は下記までご連絡ください。

連絡先：かさまつ防災士会事務局（総務課） Tel:058-388-1111

編集：笠松町 協力：かさまつ防災士会